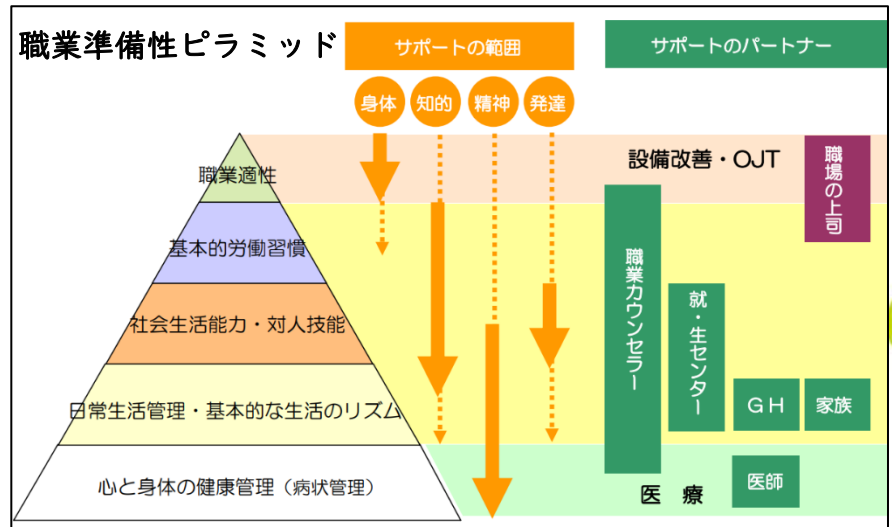


■将来を見据えた一貫した支援を

～「地域で学び地域へつなぐ」未来のために～

本校は「地域で学び地域へつなぐ」というスローガンのもと、5つの学校教育目標（基本的な学ぶ力、健康、生きる力、社会性、自信と意欲）を掲げています。

これらの目標は、将来の自立に向けた「職業準備性ピラミッド」(右の図)の考え方と深く結びついています。日々の教育活動を通じて、一段ずつ「働く土台」を積み上げていきましょう。



(高齢・障害者雇用支援機構作成)

■今、大切にしたいステップ

小学部：生活の土台作り ～自分でする意欲～

「健康管理」や「生活のリズム」を整えます。決まった時間に起きる、身だしなみを整えるといった習慣や、家庭内での小さな役割（靴を揃える、食事を運ぶ等）を通じて、自分への自信と社会の一員としての意欲を育みます。

中学部：自己理解と体験 ～得意を知る・広げる～

土台ができたなら「対人技能」や「基本的労働習慣」を積み上げます。挨拶や言葉づかい、働く場のルールを理解し、作業学習を通じて「最後までやり遂げる充実感」を味わいます。職場見学では、社会にある多様な仕事を知り、自分の可能性を広げます。

高等部：実践と進路決定 ～社会へのスムーズな移行～

「職業適性」を確認します。現場実習を通して、作業の正確性や環境の変化への対応力を高めます。18才以上を対象とした障害福祉サービス提供機関やハローワーク等の労働系機関と連携し、卒業後のサポート体制を具体的に形にしていきます。